

[平成19年5月18日 (金)]

美しい森林づくりニュース 〈NO. 14〉

～ 伝えたい木の文化、残したい美しい森 ～

発信元：林野庁 研究・保全課 森林環境保全班 企画調整係 山口

Tel : 03-3502-8111 (内線6216) 03-3501-3845 (直通) Fax : 03-3502-2887

◆「美しい国づくり」プロジェクトー「美しい日本の粹(すい)」募集

～あなたが思う、日本の“らしさ”“ならでは”を教えてください～

○募集内容

内閣官房「美しい国づくり」推進室では、「美しい国づくり」プロジェクト第一弾として、「美しい日本の粹(すい)」を募集しております。

「美しい日本の粹(すい)」では、「伝えたい私たちの美しさ」と題して、自然、文化、芸術、伝統、技術、さらにはその中にある気質や感性など、あらゆるものを対象に、失ってしまったものも含め、なくしてはいけない日本“らしさ”や日本“ならでは”のものを募集（31字以内の日本語）しております。

○応募方法

「美しい日本の粹(すい)」（31字以内）とそれを選ぶ理由、それが日々の暮らしの中で、どのようなものとして表れているかを100字以内（の日本語）にまとめて、公式ホームページまたは手紙やハガキにてご応募ください。

このほか、①氏名、②年齢、③性別、④職業、⑤住所、⑥連絡先（電話番号又はメールアドレス）を明記してください。

(1) 「美しい国づくり」プロジェクト公式ホームページ

<http://www.kantei.go.jp/be-nippon>

(2) 郵送（手紙又はハガキ）での応募宛先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30森ビル1階

内閣官房 「美しい国づくり」推進室 「美しい日本の粹(すい)」係 へ

募集期間：平成19年4月20日（金）～6月22日（金）（当日消印有効）

問合せ先：（電話）03-5472-1350 「美しい日本の粹(すい)」係

（9:30～18:00 土日祝日除く）

（詳しくは→ <http://www.kantei.go.jp/be-nippon> をご覧ください。）

◆森林づくり活動についてのアンケート集計結果まとまる

「美しい森林づくり推進国民運動」においては、適正な整備・保全のために、民間企業の協力や民間非営利団体(NPO)との連携を強化していくこととしています。国民参加の森林づくり活動は、重要な役割を担っています。

○アンケート調査について

林野庁は、植付け、下刈り、除伐、間伐、枝打ちなどの作業（森林づくり活動）を自発的に行う団体（森林ボランティア団体）を対象として、平成19年1月～3月に実施したアンケート調査の集計結果をとりまとめ公表しました。

この調査は、平成9年度から3年ごとに実施しているもので、今回で4回目であり、森林ボランティア団体の概要や活動状況を把握し、今後の施策の参考とすることを目的としています。

調査項目としては、①団体の概要、②森林づくり活動の内容、③森林づくり活動の場所、④森林づくり活動における課題等、⑤安全の確保と指導者、⑥市民活動に対する制度・支援措置についての意見等が挙げられています。

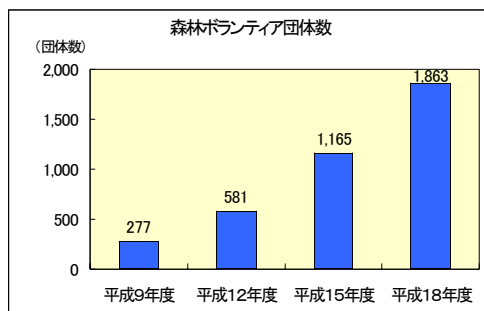
○調査結果について

【団体数】前回調査時の1,165団体から1,863団体と大きく増加しており、当初の調査時点からは6倍以上の数となり、ボランティアの皆様方の関心の高さが伺えます。

【主な目的】森林づくり活動の主な目的としては、「里山林等身近な森林の整備・保全」を挙げた団体が67%、以下「環境教育」が46%、「森林に関する普及啓発」が34%、「地域づくり、山村と都市との交流」と「手入れの遅れている人工林の整備・保全」が30%など、多様なものとなっています。

【課題】森林づくり活動においての課題も多く、「資金確保」との回答が61%と最も高く、次いで「参加者の確保」が55%、「安全の確保」が28%、「指導者の養成・確保」が20%などとなっています。

【行政への期待】森林ボランティア活動を進める上で行政に期待することについては、「活動費の資金的援助」が68%、「森林ボランティア活動への参加、共催、後援」が40%、「技術の指導や研修会の開催」が20%、「活動場所に関する情報提供」が16%などとなっています。



目的	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
里山林等身近な森林の整備・保全	498	59	733	67
手入れの遅れている人工林の整備・保全	239	28	331	30
上流域(水源地)の森林の整備・保全	227	27	242	22
魚付き林の整備、漁場の保全	22	3	70	6
竹林の整備			245	22
環境教育	385	45	507	46
社会貢献活動	207	24	258	24
森林に関する普及啓発	323	38	374	34
地域づくり、山村と都市の交流	296	35	326	30
その他	161	19	77	7
合計	2358	—	3163	—
	母数 849		母数 1092	

(詳しくは→ <http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h19-5gatu/0511moridukuri.htm>)

◆テレビ放映のお知らせ

B S朝日で毎週月曜よる9:00～9:30放送中の『峰竜太のナッ得ニッポン』において、「美しい森林づくり」を取り上げる予定です。

放送は、6月4日の予定で、森林への手入れが必要であること、海からの恵みを受けるために森林が大きく関わっていること等が紹介されます。

美しい日本の粹

(すい)

～伝えたい私たちの美しさ～

失ってしまったものも含め、
なくしてはいけない日本の“らしさ”“ならでは”を教えてください

募集要項

1 . 募集内容

あなたが思う、日本の“らしさ”“ならでは”とは、何ですか。

「日本が様々な分野で本来持っている良さや『薫り豊かな』もの」、
「失われつつあるが途絶えさせてはいけないもの」、
「かつては美しかったが美しくなくなってしまったもの」、
「実はその美しさにまだ気づいていないもの」、
そして、「これから作り上げるべき美しいもの」

そのような日本の“らしさ”“ならでは”を教えてください。

例えば、

山・森・海といった自然や、田園や里山、瓦屋根のある町並み、
日本語の美しさ、謙譲の美德、礼儀正しさ、凜とした立ち居・振る舞い、
畳や襖のある生活、障子からもれる光、日本食、
匠のワザ、省エネルギーを実現する先端技術、
調和や融和の精神、勤勉さ。

このように、自然、文化、芸術、伝統、技術、さらにはその中にある
気質や感性もあるかもしれません。

あなたが思う、日本の“らしさ”“ならでは”を、
以下の様式にそって、日本語で、各々ご記入の上、送付ください。

- 1 . 日本の“らしさ”“ならでは”である「美しい日本の粹(すい)」とは何ですか。
(31字以内)
- 2 . それを選ぶ理由は何ですか。また、それは、あなたの日々の暮らしの中で、
どのようなものとして表れていますか。(100字以内)

2 . 応募方法、募集期間、問い合わせ先

応募方法

前頁の募集内容のほか、

氏名、年齢、性別、職業、住所、
連絡先（電話番号又はメールアドレス）

を明記の上、「美しい国づくり」プロジェクト公式ホームページにご記入いただくか、以下の宛先まで手紙又はハガキにて、お送りください。

【宛先】

(1) 「美しい国づくり」プロジェクト公式ホームページから応募される場合、
<http://www.kantei.go.jp/be-nippon/>

(2) 郵送(手紙又はハガキ)で応募される場合、
〒105 - 0001

東京都港区虎ノ門3 - 2 - 2 虎ノ門30森ビル1階
内閣官房 「美しい国づくり」推進室
「美しい日本の粹(すい)」係 宛

応募内容を確認するため、ご記入いただいた連絡先に連絡させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

この応募において記入いただいた全ての個人情報は、内閣官房にて厳重に管理し、本企画を運営するために必要な範囲でのみ使用させていただきます。

ご応募いただいた段階で、応募内容の著作権は内閣官房に帰属するものとします。

応募状況のお問い合わせには、応じられません。

ご応募いただいた内容に不備がある場合は、応募が受け付けられない場合があります。

募集期間

平成19年4月20日(金)～6月22日(金) (当日消印有効)

問い合わせ先

(電話) 03 - 5472 - 1350 「美しい日本の粹(すい)」係
(9:30～18:00 土日祝日を除く。)

皆さまからのご応募を、心よりお待ちしております。

あなたが思う、日本の“らしさ”“ならでは”とは、何ですか。
そこから、「美しい国づくり」が始まります。

平成19年5月11日
林 野 庁

森林づくり活動についてのアンケート集計結果について

1 調査対象

植付、下刈り、除伐、間伐、枝打ちなどの作業（森林づくり活動）を自発的に行う団体（森林ボランティア団体）1,863団体（平成18年9月15日現在）を対象。平成19年1月4日～3月31日に実施し、1,125団体から回答（回収率60%）。

2 調査目的

森林ボランティア団体の概要や活動状況を把握し、今後の施策の参考とする（平成9年度より3年ごとに実施）。

3 調査項目

- ①団体の概要 ②森林づくり活動の内容 ③森林づくり活動の場所
- ④森林づくり活動における課題等 ⑤安全の確保と指導者
- ⑥市民活動に対する制度・支援措置についての意見等

4 調査結果の主な特徴

- (1) 森林ボランティア団体数は、1,863団体と平成15年度調査時の1,165団体から大きく増加している。
- (2) 森林づくり活動の主な目的については、「里山林等身近な森林の整備・保全」を挙げた団体が67%、以下「環境教育」が46%、「森林に関する普及啓発」が34%、「地域づくり、山村と都市との交流」と「手入れの遅れている人工林の整備・保全」が30%など、多様なものとなっている。
- (3) 活動のフィールドとなっている森林の所有者については、市町村が39%、個人が35%、国（森林管理署）が16%、都道府県が16%、学校林13%となっており、ボランティア団体の活動の場も多岐にわたっている。

[問い合わせ先]

林野庁研究・保全課

担当：林、小木曾

代表：03-3502-8111（内線6217）

直通：03-3502-5721

当資料のホームページ掲載先 URL

<http://www.maff.go.jp/www/press/press.html>

もり 森林づくり活動についてのアンケートの主な集計結果

【団体の概要】

- 団体の会員数については、10人以上50人未満が全体の51%（前回43%）を占めている。また、前回、100人未満の団体は全体の69%であったが、今回は76%に増加している。
- 団体の会員の年齢層については、「50歳以上60歳未満が最も多い」、「60歳以上が最も多い」との回答がそれぞれ全体の40%を占めており、50歳以上が最も多い団体が約8割を占めている。

もり 【森林づくり活動の内容】

- 森林づくり活動の主な目的については、「里山林等身近な森林の整備・保全」を挙げた団体が67%、以下「環境教育」が46%、「森林に関する普及啓発」が34%、「地域づくり、山村と都市との交流」と「手入れの遅れている人工林の整備・保全」が30%などとなっている。
- 団体の活動頻度については、年に4～11日である団体が27%と最も多く、それ以外には月に2日が16%、年に2～3日が15%などとなっている。

もり 【森林づくり活動の場所】

- 活動のフィールドとなっている森林の所有者については、市町村が39%、個人が35%、国（森林管理署）が16%、都道府県が16%、学校林13%となっており、ボランティア団体の活動の場も多岐にわたっている。
- 活動にあたっては、森林所有者と協定を締結していると回答した団体が33%（前回24%）と増加する一方、特に取り決めは行っていないと回答した団体は33%（前回38%）と減少している。

もり 【森林づくり活動における課題等】

- 森林づくり活動で苦労している点については、「資金確保」との回答が61%と最も多く、次いで「参加者の確保」が55%、「安全の確保」が28%、「指導者の養成・確保」が20%などとなっている。
- 森林ボランティア活動を進める上で行政へ期待することについては、「活動費の資金的援助」が68%、「森林ボランティア活動への参加、共催、後援」が40%、「技術の指導や研修会の開催」が20%、「活動場所に関する情報提供」が16%などとなっている。

【安全の確保と指導者】

- アンケート調査で把握できた怪我人は375人（前回449人）であり、前回より減少傾向にある。
このうち「1ヶ月以上休業が必要な怪我」が15人、「3日から1ヶ月未満休業が必要な怪我」が15人などとなっている。
- 怪我の原因としては、手工具（鎌、鉋等）によるものが41%、ハチ刺され等によるものが33%、転倒、滑落によるものが28%、落石、倒木等によるものが12%となっている。
- 指導者については、「会員の中に技能指導者がいない」との回答が30%（前回35%）となっており、そのための対応としては、「森林組合からアドバイスを受けている」が34%、知人等外部の人に依頼が17%などとなっている。
- 森林づくり作業にあたっての安全マニュアルの使用状況については、「行政機関や他の団体が作成したものを活用している」との回答が32%（前回31%）でほぼ横ばいとなっており、「特に使用していない」が58%（前回62%）、「独自に作成したものを活用している」との回答が13%（前回9%）となっている。

(今回の調査結果からうかがえる主な点)

1 森林ボランティア人口の増加

森林ボランティア団体数は、数的にも1,863団体と3年前に比べ1.6倍になっており、ボランティア人口は確実に増加傾向にある。なお、100人未満の団体が前回の69%から76%になるなどの結果より、個々の団体はやや小人数化する傾向にある。

2 森林ボランティア活動に取り組む団体の多様な目的

森林づくり活動の主な目的については、67%の団体が「里山林等身近な森林の整備・保全」を挙げたほか、「環境教育」(46%)、「森林に関する普及啓発」(34%)、「地域づくり、山村と都市との交流」(30%)、などが挙げられており、森林ボランティア活動を行う目的が、森林づくりそのものだけでなく、環境教育や普及啓発等、多様になってきているとともに、「手入れの遅れている人工林の整備・保全」(30%)など専門的な目的もあげられており、チェーンソー等の機械を使用する団体が増加(前回の57%から今回64%)していることとあわせ、活動が高度化していることがうかがえる。

3 森林ボランティア活動の課題

森林づくり活動で苦労している点については、「資金確保」との回答が61%と最も多く、次いで「参加者の確保」が55%、「安全の確保」が28%、「指導者の養成・確保」が20%などであり、団体数が増加するなど森林ボランティア活動が盛んになってきている中で、抱えている課題は前回の傾向に近いものとなっている。

4 安全対策への取り組みの推進が重要

森林ボランティア活動の安全については、活動を行う上での課題の一つであるが、「会員の中に技能面での指導者がいますか」との問いに「いない」と回答した団体が30%(前回35%)と減少しており、また、「安全マニュアル等を使用していますか」との問いに「特に使用していない」と回答した団体も58%(前回62%)となっているなど、安全管理の意識は高まっているものと考えられる。

また、怪我人については、375名(前回449名)となっており、ボランティア団体数が増えている中であって減少傾向にはあるものの、今後もさらなる安全管理の体制づくりと普及啓発の徹底を図ることが必要である。

森林づくり活動についての
アンケート集計結果

(平成19年3月調査)

平成19年5月

林野庁 研究・保全課

はじめに

I. 調査の趣旨

森林づくり活動を自発的に行う団体の概要や活動状況を的確に把握し、その実態を分析し、施策展開の検討基礎資料とする。

II. 調査対象

調査対象団体は、平成18年9月15日現在、都道府県において把握している団体をいい、森林づくり活動を自発的に行う団体を対象とした。

なお、本調査において「森林づくり活動」とは、「目的とする森林を造成、維持するために、植付、下刈り、除伐、間伐、枝打ちなどの作業を行うこと」を言う。

III. 調査時点

この調査票で、活動に対する質問には平成19年1月1日現在又は、平成18年（平成18年1月1日から平成18年12月31日まで）に実施した活動について調査した。

IV. 調査方法

平成18年9月に、森林づくり活動を実施しているボランティア団体の名称、所在地等について都道府県に調査を依頼し、報告のあった1,863団体すべてに平成19年1月に林野庁から調査票を送付した。

V. 集計方法

- (1) 平成9年、平成12年、平成15年の調査と同様の質問項目については対比した。
- (2) 複数回答の項目については、有効回答数を分母として割合を示した。
- (3) 調査年を特に明示していないものは、平成18年の調査による。

VI. その他

この調査は、農林水産省が、統計報告調整法第4条の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施した。

[担当・問い合わせ先]

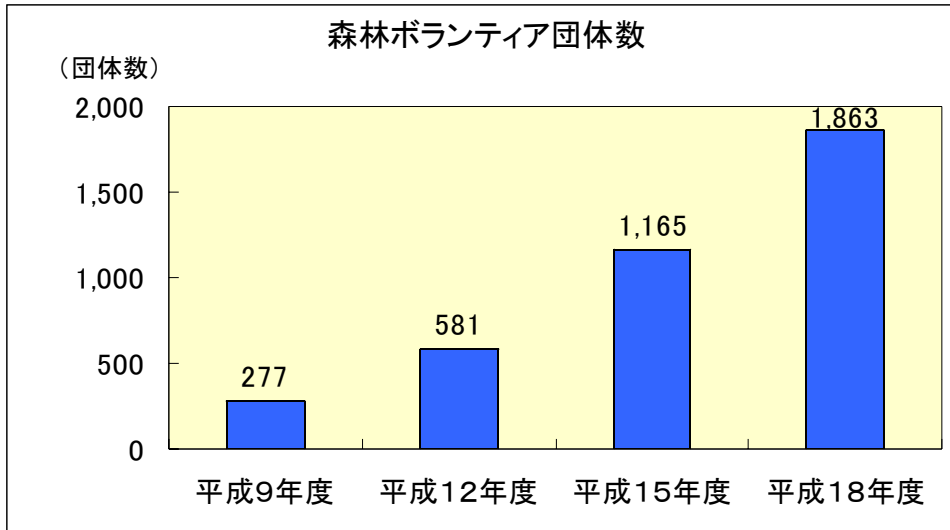
林野庁 森林整備部 研究・保全課
森林ボランティア支援室
林、小木曾

Tel:03-3502-8111 ext.6217

E-mail volunteer@nm.maff.go.jp

「森林づくり活動についてのアンケート」集計結果

平成 9年	: 団体数	277	有効回答数	145(52%)
平成12年	: 団体数	581	有効回答数	332(57%)
平成15年	: 団体数	1,165	有効回答数	883(76%)
平成18年	: 団体数	1,863	有効回答数	1,125(60%)



1 貴団体の概要についてお伺いします。

(1) 団体の活動年数

活動年数(年)	平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)
0年-2年	55	38	88	28	186	23	82	9
3年-5年	31	22	105	33	230	28	245	26
6年-10年	28	20	61	19	225	28	325	34
11年-15年	9	6	28	9	63	8	140	15
16年-20年	4	3	11	3	38	4	49	4
21年以上	15	11	26	8	74	9	114	12
合計	142	100	319	100	816	100	955	100

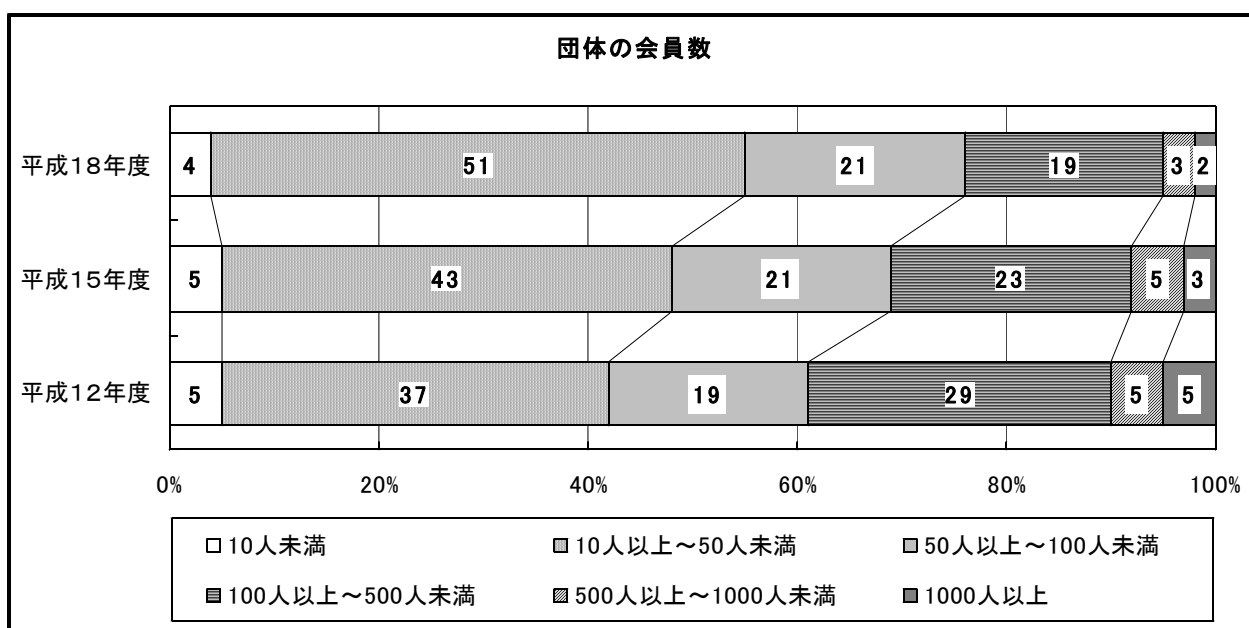
(2) 組織の形態はどのようになっていますか。(一つ回答)

組織形態	平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度		
	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	
財団法人	4	3	3	1	14	2	19	2	
社団法人	11	8	7	2	13	1	16	1	
任意団体	117	83	288	88	671	76	769	71	
その他法人	NPO法人	9	6	22	7	107	12	190	17
	事業体			7	2	70	8	42	4
	その他法人					6	1	52	5
合計	141	100	327	100	881	100	1088	100	

(3) 会員数(団体・法人会員等を除く)はどのくらいですか。(一つ回答)

会員数	平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)
10人未満	15	5	44	5	42	4
10人以上～50人未満	121	37	344	43	526	51
50人以上～100人未満	64	19	170	21	216	21
100人以上～500人未満	96	29	183	23	202	19
500人以上～1000人未満	16	5	37	5	30	3
1000人以上	15	5	26	3	25	2
合計	327	100	804	100	1041	100

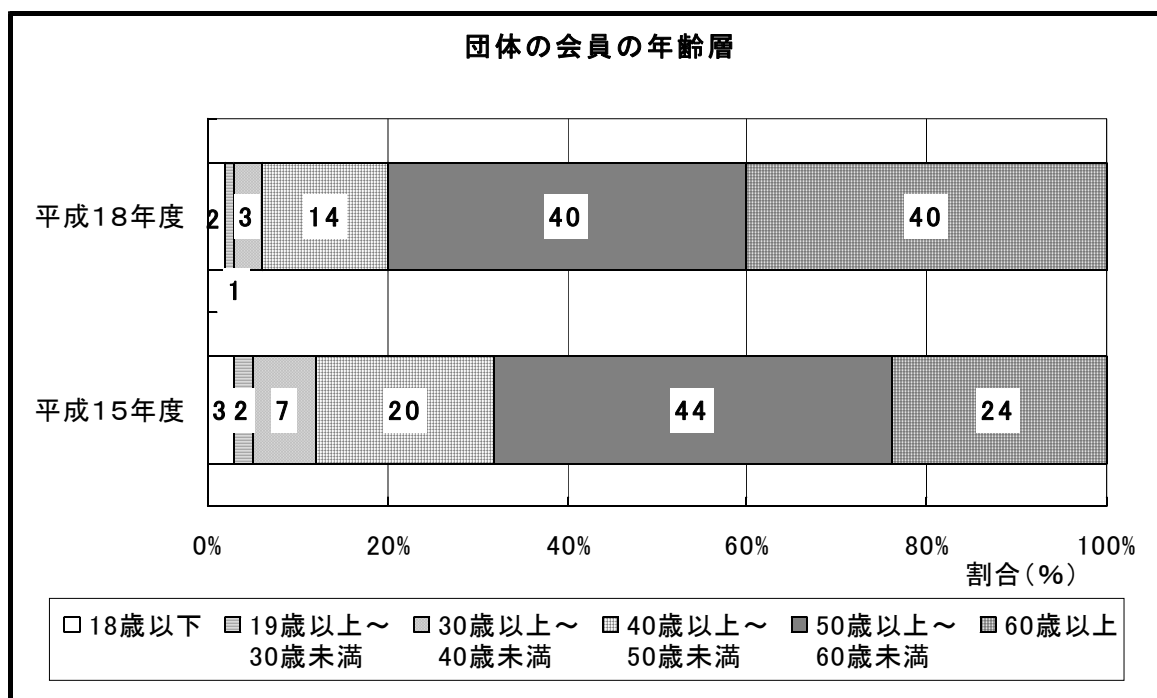
※事業体はのぞく



(4) 最も多い会員の年齢層はどれですか。(一つ回答)

年齢層	平成15年度		平成18年度	
	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)
18歳以下	26	3	22	2
19歳以上～30歳未満	16	2	10	1
30歳以上～40歳未満	58	7	32	3
40歳以上～50歳未満	159	20	141	14
50歳以上～60歳未満	349	44	410	40
60歳以上	188	24	417	40
合計	796	100	1032	100

※事業体のぞく



(5) 団体の会員の構成等について以下の項目にお答えください。

①会員の居住地について（一つ回答）

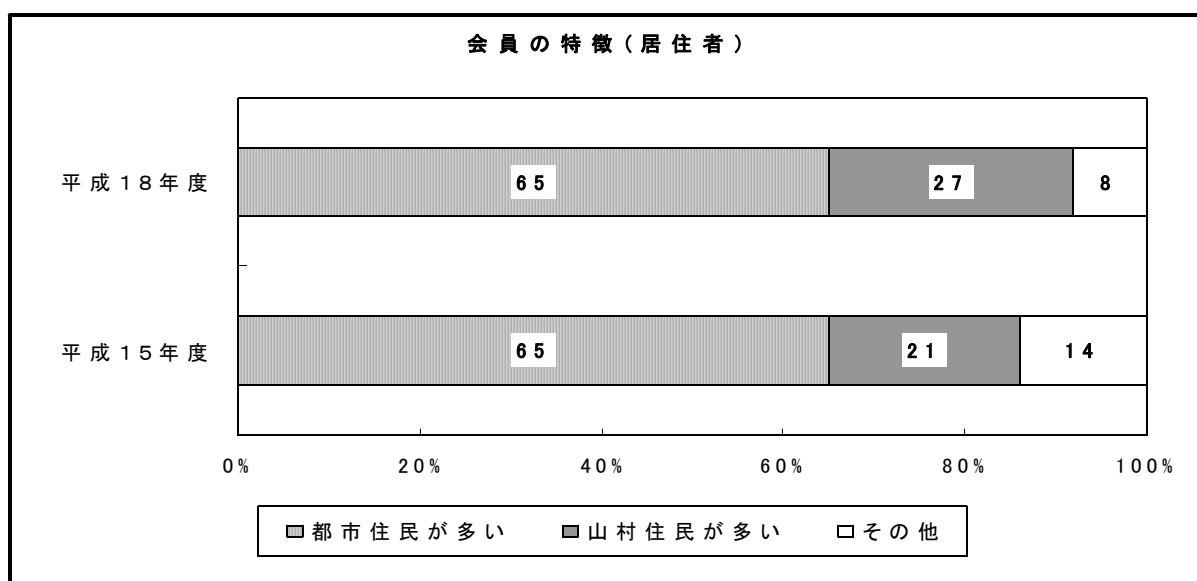
※「山村」：林野面積の占める比率が高く、人口の比較的少ない地域

「都市」：「山村」以外の区域

②職種等について（主なものを3つ回答）

※職種等について、「林業従事者」と「自営業者」等重複する場合は、上位の選択肢を優先

会員の特徵		平成15年度		平成18年度	
		団体数	割合(%)	団体数	割合(%)
住民	都市居住者が多い	551	65	720	65
	山村居住者が多い	184	21	292	27
	上記以外	121	14	84	8
	計	856	100	1096	100
職種 (主なもの 3つ)	林業従事者	35	4	113	4
	農業従事者	46	5	215	8
	漁業従事者	57	7	64	2
	教職員	5	1	56	2
	会社員(パートを含む)	143	17	602	22
	公務員(教職員除く)	34	4	223	8
	自営業者	57	7	369	13
	退職者(定年退職された方)	164	19	675	25
	主婦	47	5	329	12
	学生	28	3	64	2
	父兄・保護者	8	1	57	2
	その他	6	1		
	上記に当てはまらず、多様な職種の者がいる	236	26		
	計	866	100	2767	100



(6) 団体の森林づくり活動に関する運営にかかわっているスタッフは何人ですか。

○ スタッフの数

スタッフ数	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
0人	18	2	17	2
1以上～5人未満	195	24	267	25
5以上～10人未満	224	27	279	26
10以上～15人未満	177	22	194	18
15人以上	205	25	304	29
合計	819	100	1061	100

○ うち専従スタッフの数

専従スタッフ数	平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
0人	210	63	388	66	373	55
1以上～5人未満	78	24	162	27	212	31
5以上～10人未満	25	8	25	4	58	8
10以上～15人未満	18	5	6	1	28	4
15人以上			12	2	13	2
合計	331	100	593	100	684	100

(7) 森林づくりに関する活動資金（事務局運営費を除く）は、主にどのようにして確保していますか。また、その割合（森林づくりに関する活動資金全体に占める割合）はどのくらいですか。（複数回答可）

※「うち…のもの」の割合も森林づくりに関する活動資金に対する割合として記入。

○ 森林づくりに関する活動資金の主な確保方法

資金確保方法	平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
会費	107	74	240	75	488	63	673	66
うち定期的に徴収	73	50	139	43	299	39	401	39
寄付金	79	54	167	52	227	29	281	28
うち企業	13	9	32	10	67	9	164	16
補助金・助成金等	101	70	271	84	509	66	653	64
うち緑の募金、森林基金	35	24	127	39	239	31	376	37
その他	37	26	62	19	143	19	279	27
その他					196	25	275	27
合計	324	—	740	—	1563	—	2161	—
	母数	145	母数	322	母数	771	母数	1016

○ ^{もり} 森林づくりに関する活動資金確保方法の割合

資金確保方法	森林づくりに関する活動資金に対する割合										
	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	平均
	回答数										
会費	168	117	74	38	58	17	29	44	30	98	4
うち定期的に徴収	38	36	21	6	20	5	4	14	11	228	7
寄付金	107	63	26	14	17	10	6	9	7	22	3
うち企業	18	12	6	0	6	3	0	8	1	41	4
補助金・助成金等	57	53	63	49	96	35	74	70	58	98	6
うち緑の募金、森林基金	30	18	23	19	31	18	15	20	11	86	5
収益事業	60	38	27	27	29	18	18	28	8	26	5
その他	80	42	21	16	32	5	11	14	10	44	4

○ 収益事業内容

収益事業内容		平成15年度		平成18年度	
		回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
イベント(フリーマーケット含む)の参加費、指導料		42	33	60	27
物品販売	木炭・竹炭・薪	15	12	38	17
	木工品	15	12	17	8
	特産物	10	8	18	8
	その他	9	7	16	7
調査研究費		4	3	17	8
作業やその他	森林整備	19	15	73	33
	その他	19	15	30	14
合計		133	—	269	—
		母数 129		母数 220	

(8) ^{もり} 森林づくりに関する活動経費で主な支出科目は何ですか。また、その割合(森林づくりに関する活動全体に占める割合)はどのくらいですか。(主なものを3つ回答)

支出科目	森づくりに関する活動予算に対する割合										
	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	平均
	回答数										
資材費、作業器具購入費、燃料費	50	77	105	80	105	100	119	114	53	62	6
指導者謝金等	114	63	40	11	14	8	4	1	1	0	2
普及・広報費	148	84	40	9	13	5	4	0	2	1	2
交通費	82	52	20	18	18	4	2	9	1	3	3
人件費	33	58	30	18	21	10	10	12	2	4	4
事務局運営費	196	95	41	13	17	4	1	1	1	10	2
保険料	256	67	21	11	10	5	4	0	0	4	2
その他	52	46	37	37	21	9	10	9	5	11	4

母数 1,001

2 貴団体で行う活動のうち、森林づくり活動についてお伺いします。

(1) 活動の主な内容、目的はどのようなことですか。(複数回答可)

目的	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
里山林等身近な森林の整備・保全	498	59	733	67
手入れの遅れている人工林の整備・保全	239	28	331	30
上流域(水源地)の森林の整備・保全	227	27	242	22
魚付き林の整備、漁場の保全	22	3	70	6
竹林の整備			245	22
環境教育	385	45	507	46
社会貢献活動	207	24	258	24
森林に関する普及啓発	323	38	374	34
地域づくり、山村と都市の交流	296	35	326	30
その他	161	19	77	7
合計	2358	—	3163	—

母数 849 母数 1092

(2) 森林づくり活動への年間延べ参加人数はどのくらいですか。(一つ回答)

参加人数	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
10人未満	25	3	33	3
10人以上～50人未満	181	21	199	18
50人以上～100人未満	196	23	238	22
100人以上～500人未満	345	40	445	40
500人以上～1000人未満	64	8	116	11
1000人以上～5000人未満	40	5	52	5
5000人以上	1	0	7	1
合計	852	100	1090	100

(3) 森林づくり活動の頻度はどの程度ですか。(一つ回答)

活動頻度	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
月に5日以上	46	5	97	9
月に4日	33	4	52	5
月に3日	52	6	86	8
月に2日	122	14	177	16
月に1日	151	18	145	13
年に4～11日	203	25	287	27
年に2～3日	144	17	165	15
1年に1日	59	7	67	6
その他	34	4	11	1
合計	844	100	1087	100

(4) 過去1年間(平成18年1月1日から平成18年12月31日まで)において、森林整備・保全のために実施した作業を内容ごとにその実施面積を記入してください。(複数回答可)

○ 森林整備・保全の作業内容

作業内容	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
歩道作設・修理	206	23	338	30
地拵え	157	18	185	16
植え付け	352	40	432	38
下刈り	487	55	611	54
除伐	264	30	332	30
間伐	301	34	408	36
枝打ち	193	22	221	20
林内清掃			265	24
獣害対策			121	11
森林環境教育等			466	41
看板・表示板の設置			304	27
その他	91	10	63	6
合計	2051	—	3746	—

母数 883 母数 1125

○ 過去1年の森林整備・保全実施面積等

面積(ha)	地帯え		植え付け		下刈り		除伐		間伐		枝打ち		その他	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
1未満	111	60	261	60	199	33	137	41	152	37	94	43	26	41
1以上～2未満	45	24	84	19	164	27	101	30	125	31	63	29	15	24
2以上～3未満	10	5	29	7	76	12	36	11	45	11	26	12	6	10
3以上～5未満	8	4	26	6	68	11	24	7	35	9	13	6	4	6
5以上～10未満	5	3	8	2	58	9	21	6	21	5	18	8	2	3
10以上～20未満	1	1	6	1	21	3	7	2	21	5	1	0	5	8
20以上～50未満	2	1	9	2	13	2	6	2	7	2	5	2	1	2
50以上	3	2	9	2	12	2	0	0	2	0	1	0	4	6
回答数計	185	100	432	99	611	99	332	99	408	100	221	100	63	100
実施面積計(ha)	288		1747		3308		535		643		295		1080	
1実行団体当たり平均面積(ha)	1.6		4.0		5.4		1.6		1.6		1.3		17.1	

距離(m)	歩道作設	
	回答数	割合(%)
50未満	46	14
50以上～100未満	30	9
100以上～200未満	55	16
200以上～500未満	96	28
500以上～1000未満	56	17
1000以上～2000未満	24	7
2000以上	31	9
回答数計	338	100
実施距離計(m)	150851	
1実行団体当たり平均距離(m)	446.3	

面積(ha)	林内清掃		獣害対策	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
1未満	90	49	19	4
1以上～2未満	83	45	6	1
2以上～3未満	29	16	4	1
3以上～5未満	21	11	4	1
5以上～10未満	19	10	2	0
10以上～20未満	10	5	0	0
20以上～50未満	8	4	2	0
50以上	5	3	2	0
回答数計	265	143	121	7
実施面積計(ha)	656		1039	
1実行団体当たり平均面積(ha)	2.5		8.6	

回数、設置数(回、基)	森林環境教育		看板等設置	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
3未満	183	40	183	59
3以上～5未満	107	23	58	19
5以上～10未満	90	19	29	10
10以上～20未満	58	12	21	7
20以上～50未満	20	4	8	3
50以上	8	2	5	2
回答数計	466	100	304	100
回数、設置数計	2433		1210	
1実行団体当たり平均回数、設置数	5.2		4.0	

○ 過去1年に実施した「植え付け」におけるの主な植栽樹種（複数回答可）

植栽樹種	平成18年度	
	回答数	割合(%)
スギ	17	6
ヒノキ	18	6
マツ	49	17
その他の針葉樹	2	1
コナラ	119	41
クヌギ	61	21
ケヤキ	35	12
ブナ	36	13
サクラ類	101	35
シイ類	8	3
カシ類	46	16
ニレ類	10	3
その他の広葉樹	382	133
合計	884	—

母数 287

※その他広葉樹については、複数回答のため100%を超えている。

(5) - 1 現地の森林^{もり}づくりに関する中長期的な計画を作成していますか。（一つ回答）

中長期的計画作成の有無	平成18年度	
	回答数	割合(%)
作成している	500	45
作成していない	601	55
合計	1101	100

ー 作成している場合は、どのような方法で作成しましたか。（複数回答可）

作成方法	回答数	割合(%)
団体スタッフ等が作成	278	56
会員全体で作成	93	19
林業の専門家に指導を受けて作成	94	19
行政の指導を受けて作成	125	25
森林所有者が作成した作業計画を使用	32	6
現地検討会を開催し作成	78	16
地域住民の意見を反映して作成	94	19
その他	29	6
合計	823	—

母数 500

(5) - 2 現地の森林づくりに関する年間作業計画を作成していますか。(一つ回答)

年間計画作成の有無	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
作成している	453	53	741	67
作成していない	404	47	358	33
合計	857	100	1099	100

ー 作成している場合は、どのような方法で作成しましたか。(複数回答可)

作成方法	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
団体スタッフ等が作成	321	71	492	66
会員全体で作成	91	20	156	21
林業の専門家に指導を受けて作成	81	18	93	13
行政の指導を受けて作成	73	16	146	20
森林所有者が作成した作業計画を使用	20	4	30	4
現地検討会を開催し作成	66	15	68	9
地域住民の意見を反映して作成	38	8	101	14
その他	21	5	35	5
合計	711	—	1121	—

母数 453 母数 741

(6) 他団体との間のネットワークに参加していますか。(一つ回答)

ネットワーク参加の有無	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
参加している	493	58	709	65
参加していない	357	42	378	35
合計	850	100	1087	100

ー 参加している場合は、どのようなネットワークに参加していますか(複数回答可)

参加ネットワークの種類	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
全国の森林に関するネットワーク	116	24	102	14
全国の森林に限定されないネットワーク	39	8	50	7
都道府県の森林に関するネットワーク	279	57	342	48
都道府県の森林に限定されないネットワーク	98	20	128	18
地域内の森林に関するネットワーク	102	21	198	28
地域内の森林に限定されないネットワーク	79	16	170	24
その他	28	6	32	5
合計	741	—	1022	—

母数 493 母数 709

(7) 会員や外部への広報活動を行っていますか。(複数回答可)

会員や外部への広報活動	回答数	割合(%)
会員向けの定期的な会報を発行	278	30
会員及び外部向けの定期的な会報を発行	153	17
会員向けの不定期的な会報を発行	226	24
会員及び外部向けの不定期的な会報を発行	134	15
ホームページを開設	270	29
行政の広報誌等への記事の掲載を依頼	273	30
その他	121	13
合計	1455	—

母数 924

3 ^{もり} 森林づくり活動を行っている場所についてお伺いします。

(1) 活動している森林は、誰の所有ですか。(複数回答可)

森林の所有者		平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
		回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
国(森林管理署等で管理)		38	26	72	22	190	23	164	16
都道府県		23	16	54	17	159	19	169	16
市町村		66	46	132	41	373	44	408	39
林業公社・公団造林等		8	6	12	4	19	2	91	9
学校								138	13
会社等		4	3	17	5	32	4	62	6
個人		49	34	148	46	367	44	373	35
その他	共有林、財産区	18	12	54	17	143	17	134	13
	その他					63	8	52	5
合計		206	—	489	—	1346	—	1591	—
		母数 145		母数 322		母数 845		母数 1056	

(2) 活動している森林の所有者と何らかの「取り決め」は行っていますか。(複数回答可)

取り決め方法	平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
分収林契約	11	8	13	4	37	4	33	3
賃貸契約	6	4	18	6	37	4	54	5
協定を締結	13	9	39	12	198	24	344	33
作業契約	3	2	9	3	70	8	94	9
一応の取り決めはあるが、口頭のみ	20	14	82	25	226	27	269	25
特に取り決めは行っていない	76	52	145	45	315	38	345	33
その他	13	9	26	8	91	11	80	8
合計	142	—	332	—	974	—	1219	—
	母数 145		母数 322		母数 830		母数 1056	

○ 森林所有者別森林所有者との取り決め

取り決め方法	森林所有者									合計
	国(森林管理署)	都道府県	市町村	林業公社・公団造林等	学校	会社等	個人	共有林、財産区	その他	
	回 答 数									
分収林契約	26	4	11	1	0	1	9	2	2	56
賃貸契約	5	13	23	2	1	6	28	7	0	85
協定を締結	77	73	172	20	13	21	119	46	12	553
作業契約	13	25	44	10	7	6	33	38	1	177
一応の取り決めはあるが、口頭のみ	31	33	106	66	17	13	138	39	11	454
特に取り決めは行っていない	40	57	114	17	115	18	96	37	20	514
その他	13	9	24	2	6	24	25	4	7	114
合計	205	214	494	118	159	89	448	173	53	1953
	構 成 比 (%)									
分収林契約	46	7	20	2	0	2	16	4	4	100
賃貸契約	6	15	27	2	1	7	33	8	0	100
協定を締結	14	13	31	4	2	4	22	8	2	100
作業契約	7	14	25	6	4	3	19	21	1	100
一応の取り決めはあるが、口頭のみ	7	7	23	15	4	3	30	9	2	100
特に取り決めは行っていない	8	11	22	3	22	4	19	7	4	100
その他	11	8	21	2	5	21	22	4	6	100
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(3) 上記のうち主な取り決めについて、期間などはどのようになっていますか。

① 期間はどの程度ですか。

期間の平均 : 10年間 ((最小値) 1日~ (最高値) 無期限)

2. 使用料などを払っている場合 (分収育林の契約金を除く)

使用料の平均 : 92,087円/年・ha

((最小値) 0円/年・ha~ (最高値) 3,400,000円/年・ha)

(4) 活動場所が決まっている場合、活動場所ごとに面積と森林の状況をご記入ください。

○ 活動場所対象森林面積

活動対象森林面積	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
3ha未満	660	62	968	59
3ha以上～5ha未満	127	12	188	11
5ha以上～10ha未満	96	9	174	11
10ha以上～20ha未満	80	7	127	8
20ha以上～50ha未満	58	5	96	6
50ha以上	56	5	87	5
回答数計	1077	100	1640	100
対象面積計(ha)	18847.3		55836.3	
1箇所あたり対象森林面積(ha)	17.5		34.0	
1団体あたり対象森林面積(ha)	34.3		66.8	

○ 活動対象としている森林の形態（複数回答可）

対象森林の形態		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
		回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
人工林	針葉樹	129	40	207	25	501	60
	広葉樹	56	17	88	10	203	24
	混交林	45	14	168	20	210	25
伐採跡地・荒れ地		63	20	204	24	196	23
天然林(いわゆる雑木林を含む)		112	35	338	40	278	33
その他	竹林	39	12	136	16	157	19
	その他			87	10	95	11
合計		444	—	1228	—	1640	—
		母数	322	母数	840	母数	836

4 森林づくり活動における課題等についてお伺いします。

(1) 森林づくり活動で特にご苦労されている点はどのような点ですか。(主なものを3つ以内で回答)

苦労している点	平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
資金確保	67	46	176	55	473	57	661	61
活動の場などの情報	14	10	27	8	73	9	66	6
市民団体相互の情報交換	10	7	16	5	23	3	41	4
所有者等との信頼感の確保	15	10	35	11	67	8	75	7
社会的認識の確保	37	26	60	19	136	16	172	16
活動の場の確保	29	20	60	19	116	14	148	14
指導者の養成・確保	43	30	99	31	195	23	211	20
参加者の確保	76	52	144	45	406	49	595	55
安全の確保	49	34	102	32	196	24	301	28
その他	会員意識、責任感の低下				95	11	113	10
	会員の技術レベル				82	10	118	11
	事務運営				146	18	172	16
	その他				61	7	83	8
合計	340	—	719	—	2069	—	2756	—
	母数 145		母数 322		母数 833		母数 1080	

(2) 森林ボランティア活動を進める上で、行政に期待することは何ですか。(主なものを3つ以内で回答)

期待すること	回答数	割合(%)
活動費の資金的援助	712	68
その他資金的な援助	115	11
活動場所に関する情報提供	165	16
活動内容に関する情報提供	106	10
その他の情報提供	30	3
森林所有者との調整	150	14
森林ボランティア活動への参加、共催、後援	420	40
技術の指導や研修会の開催	205	20
安全の指導や研修会の開催	155	15
指導者育成	137	13
協定・技術認定への承認	31	3
活動フィールドの提供	148	14
その他	80	8
合計	2454	—
	母数 1044	

5 ^{もり} 森林づくりにあたっての安全の確保や指導者についてお伺いします。

(1) - 1 過去1年間(平成18年1月1日から平成18年12月31日まで)で、森林づくり作業中に怪我をってしまった方はいますか。(一つ回答)

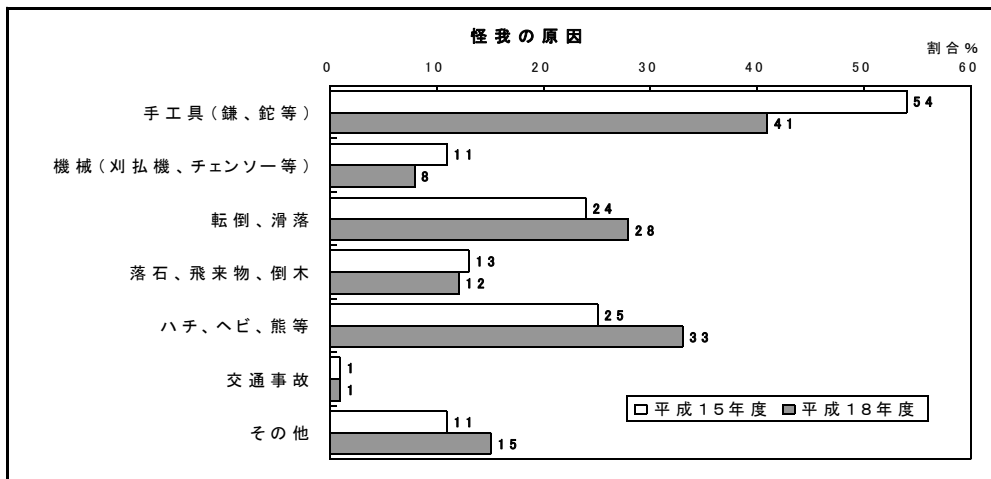
怪我人合計 375 名

一怪我をした人がいる場合は、その怪我の程度はどうでしたか。(複数回答可)

怪我の程度	平成9年度		平成12年度		平成15年度				平成18年度			
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	団体数	割合(%)	人数	割合(%)	団体数	割合(%)
1ヶ月以上休業が必要な怪我	15	100	11	100	17	4	13	2	15	4	14	1
3日~1ヶ月未満の休業が必要な怪我					29	6	22	3	15	4	15	1
1日~3日未満の休業が必要な怪我					10	2	9	1	20	5	11	1
休業は必要ないが通院の必要な怪我					117	26	71	8	110	29	78	7
通院の必要のない軽微な怪我					276	62	99	12	215	58	119	11
いない							650	77			856	81
計	15	100	11	100	449	100	864	—	375	100	1093	—
					母数	196	846		母数	207	1063	

(1) - 2 (1) - 1で「怪我をした人がいる」と答えた方で、その怪我の原因は何でしたか。(複数回答可)

怪我の原因	平成15年度		平成18年度	
	割合(%)	回答数	回答数	割合(%)
手工具(鎌、鉋等)	104	54	64	41
機械(刈払機、チェーンソー等)	22	11	12	8
転倒、滑落	47	24	45	28
落石、飛来物、倒木	25	13	19	12
ハチ、ヘビ、熊等	48	25	52	33
交通事故	2	1	2	1
その他	22	11	23	15
合計	270	—	217	—
	母数	193	母数	158



(2) 傷害保険などに加入していますか。(一つ回答)

加入の有無	平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
加入している	110	76	252	78	613	74	886	82
加入していない	35	24	70	22	220	26	199	18
合計	145	100	322	100	833	100	1085	100

— どのような保険に加入していますか(複数回答可)

傷害保険の種類	平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
森林ボランティア保険	27	19	54	17	187	31	229	26
その他の保険	ボランティア保険	46	158	49	201	33	371	42
	レクリエーション保険				147	24	205	23
	その他の保険				127	21	163	18
合計	93	—	212	—	662	—	968	—
		母数 145		母数 322		母数 613		母数 886

(3) 緊急時の連絡体制について何か配慮していますか。(一つ回答)

緊急連絡体制への配慮	平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
している	136	47	358	44	486	47
していない	142	49	425	52	533	51
その他	11	4	31	4	23	2
合計	289	100	814	100	1042	100

(4) - 1 会員の中には技能面での指導者はいますか。(一つ回答)

技術指導者の有無	平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
いる	93	65	218	72	547	65	754	70
いない	49	35	84	28	294	35	324	30
合計	142	100	302	100	841	100	1078	100

— 「いない」とされた方は、どのように対応されていますか。(複数回答可)

対応の内容	平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
森林所有者からアドバイスを受けている	12	24	23	27	48	16	43	13
地元の森林組合からアドバイスを受けている	21	43	37	44	109	37	109	34
知人等外部の人に来てもらっている	5	10	21	25	54	18	55	17
森林インストラクターに依頼している	7	14	16	19	25	9	47	15
その他	18	37	34	40	78	27	87	27
合計	63	—	131	—	314	—	341	—
		母数 49		母数 84		母数 294		母数 324

(4) - 2 会員の中に林業関係の資格等をお持ちの方はいますか。(一つ回答)

林業関係等資格取得者の有無	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
いる	455	56	692	63
いない	357	44	404	37
合計	812	100	1096	100

ー 「いる」とされた方は、どのような資格等を何人がお持ちですか。(複数回答可)

資格名	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
森林インストラクター資格	1024	20	894	12
緑化技術資格(樹木医、樹医等)	278	6	165	1
専門的技術資格(技術士、林業技士等)	300	6	522	7
普及指導資格(林業普及指導員等)	541	11	531	7
機械使用関係(チェーンソー取扱特別教育(講習会)受講者等)	2590	51	3289	43
安全管理に関する資格(安全衛生指導員等)	319	6	462	6
その他(都道府県の認定制度等)	1	0	1825	24
合計	5053	100	7688	100

(4) - 3 会員や参加者に対しての技術面での指導をどのように行っていますか。(複数回答可)

技術指導の有無	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
していない	158	19	176	16
外部での研修会に参加させる	176	21	266	25
団体の研修会を行っている	130	16	217	20
活動毎に指導を行っている	528	63	691	65
その他	45	5	63	6
合計	1037	—	1413	—

母数 835 母数 1067

(5) リーダー養成の研修等へどなたか参加されましたか。(一つ回答)

養成研修参加の有無	平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
参加している	177	56	389	46	586	56
参加していない	139	44	448	54	468	44
合計	316	100	837	100	1054	100

－ 参加された方は、どのような研修に参加されましたか。(複数回答可)

研修種類	平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
行政機関の実施する研修へ参加している	119	56	258	66	405	69
団体等が実施する研修へ参加している	81	38	218	56	270	46
その他	12	6	13	3	11	2
合計	212	100	489	—	686	—

母数 389 母数 586

－ また、どのような研修内容でしたか。(複数回答可)

研修内容	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
作業知識・技術力	284	73	354	60
指導知識	172	44	168	29
企画・運営	176	45	172	29
環境教育	202	52	305	52
道具整備	108	28	177	30
機械の使用技術	183	47	293	50
その他	16	4	17	3
合計	1141	—	1486	—

母数 389 母数 586

(6) ^{もり}森林づくりの作業にあたって、安全指導をどのように行っていますか。(複数回答可)

安全指導方法	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
特に考えていない	62	7	55	5
各自に任せている	211	25	232	22
外部の研修会に参加させている	100	12	150	14
団体の研修会を行っている	105	13	145	14
活動毎に指導を行っている	546	65	724	68
定期的に注意喚起している	141	17	234	22
その他	24	3	43	4
合計	1189	—	1583	—

母数 838 母数 1065

(7) ^{もり}森林づくりの作業にあたっては、安全マニュアル等を使用していますか。(複数回答可)

安全マニュアルの使用状況	平成12年度		平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
行政機関や他の団体等が作成したものを活用している	112	36	257	31	335	32
独自に作成したものを活用している	31	10	76	9	132	13
特に使用していない	157	50	512	62	614	58
その他	13	4	17	2	27	3
合計	313	100	862	—	1108	—
			母数 831		母数 1054	

(8) チェンソー等の機械器具を使用した活動を行っていますか。(一つ回答)

機械器具の使用の有無	平成15年度		平成18年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
使用する	478	57	694	64
使用しない	361	43	386	36
合計	839	100	1080	100

6 最後に、活動に対する国や都道府県、市町村や支援団体の制度・支援措置について、現在の問題点、今後の課題、ご意見等お考えをお聞かせください。(自由記載)

分類	主な問題点、課題、意見	回答数
1. ボランティア活動の制度・支援措置	制度・支援措置の拡充	73
	財政的な制度・支援措置の拡充	119
	制度や支援措置の利用の申請・手続きが面倒	13
	技術力の制度・支援措置の拡充	13
	長期的または継続性のある制度の創設	24
2. 普及啓蒙、広報活動について	普及啓蒙、広報活動の充実	39
	活動のための支援制度、活動状況等の情報提供が不足	36
3. ボランティア活動の推進体制について	行政の積極的な参加	57
	官民協働パートナーシップの確立が必要	28
	学校教育との連携が必要	14
4. 問題点、課題	人材の育成、指導者の育成が不足	49
	ボランティア参加者の減少	36
	ボランティアの高齢化	25

注) 当該項目については、自由な記載により回答された意見を、主な項目に分類し集計。